

鎌倉交響楽団

'90ニューイヤーコンサート

指揮 古谷誠一 司会 永井邦子



日時／1月21日(日) 午後2時開演

会場／鎌倉市中央公民館分館

後援／鎌倉市

プログラム

「ヘンゼルとグレーテル」序曲 フンパーディンク

「ドラゴンクエストⅢ」より すぎやまこういち

==== 休憩 ====

インスタント コンダクターのコーナー

組曲「グランド・キャニオン」より グローフェ

「古代舞曲とアリア第3組曲」より レスピーギ

交響詩「ローマの松」より レスピーギ

曲目紹介

「ヘンゼルとグレーテル」序曲

この歌劇は、いうまでもなくグリム童話による3幕のオペラです。第1幕は、お母さんの言いつけでヘンゼルとグレーテルが、森へイチゴをつみに出かける場面です。第2幕は森の奥です。ヘンゼルとグレーテルが、イチゴや花をつんだりしているうちに夜になってしまい、2人は道に迷ってしまいました。そこに森の中の眠りの妖精が現われて、やさしく2人を平和な眠りに誘います。第3幕も同じ森の中です。朝になり2人が目を覚ますと、覚えていた森の景色がいつの間にか不思議なお菓子の家になっていて2人はびっくりします。やがて家の中から魔女が出てきて2人を捕まえ、焼いて食べてしまおうとしますが、2人は突差の知恵で魔女を退治し、魔法によって閉じ込められていた小人達をよみがえらせます。そして、みんなが喜んでいるところに

お父さんとお母さんが現われてこのオペラは終わります。

このオペラの内容は皆さんが知っているお話とは多少違っています。原作は、まま母、捨て子、魔法のどぎつい物語ですが、このオペラではお菓子の家を中心に明るく脚色されています。

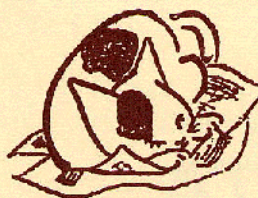
組曲「グランド・キャニオン」

グランド・キャニオンは皆さん御存知のように、アメリカ南西部の砂漠にある世界一の大峡谷です。その荒々しさ、度肝をぬくスケールの大きさを曲にしたのが、ニューヨークに生まれたグローフェで、何度も実際にこの地を訪れて、肌で感じた印象を親しみやすいメロディーにのせ、5曲からなる組曲に仕上げています。今日演奏されるのは、その中から“日の出”と“山道を行く”の2曲です。

交響詩「ローマの松」より“アッピア街道の松”

この曲は、イタリアの作曲家レスピーギの作品です。今日演奏される「古代舞曲とアリア」も彼の作品です。優雅で繊細な舞曲よりむしろ「ローマの松」を初めとしたローマ三部作と呼ばれる作品の方が、よく知られています。アッピア街道とは、古代ローマ帝国が築いた石畳の道で、東南部から永遠の都ローマへ今もまっすぐ続き、かつての栄華をしのばせています。「...強烈な南国の太陽の照り返しの中、戦いに勝ってローマへ凱旋していった、いにしへの武将達の靴音が、朝もやのけむる街道に低く聞こえはじめ、次第に近づき...行進は堂々たるクライマックスを迎える...」古代の大帝国のエネルギーを一瞬の夢の中で是非感じとっていただけたら、と思います。アッピア街道の松並木は、青い空の陽光のもと、そして歴史の宝庫イタリアのはるかな栄光を静かに見守り、そして語るのです。

輸入楽譜専門の鎌倉ムジカです。
海外の楽譜出版社と直接契約し「お望みの楽譜を、一刻も速く」お届け致します。



KAMAKURA
MUSI**CA**

鎌倉市浄明寺375
TEL 0467-24-8766
FAX 0467-22-9755